



松香芳三 教授

(まつかよしぞう)  
かみあわせ補綴科

- 1963年(昭和38年)生まれ
- 1992年(平成4年)岡山大学大学院歯学研究科修了
- 2012年7月 教授就任

専門分野 ●歯科補綴学 顎関節症 ●口腔顔面痛

## 大学病院の良さを活かした総合力で取り組みたい

後継者育成という面は高校生たちが憧れて入ってくるような大学、学部を目指したいですね。前任地の岡山では県下はもちろん兵庫まで高校を廻って説明会を開催し、精力的に取り組んでいました。

とはいえ、6年目の臨床実習はなかなかハードで、そこで行き詰まる学生も少なくありません。そういうときこそ、何気ないことまで相談に乗れるようなきめ細かい接し方が大切で、「松香ジャパン」の意気込みをもってサポートしてきました。

一方、治療面では医療と歯科が一緒という大学病院の良いところを活用し、口の中を衛生的にする口腔内科プラス噛み合わせを改善する補綴をお手伝いして、総合力で患者さんの役に立てるよう努めたいですね。多職種連携でこれからの治療に取り組んでいきたいです。

同じ栄養量を体内に取り入れても、噛めるようになると不思議なことに体重が増えて体力がつかず。

ですから、入院が決まったらまずは歯の治療に取り組み、十分に噛めるようにすると退院が早いのです。そういうこともぜひ知っておいていただきたいですね。

## 患者の皆様へ

安全に検査を受けていただくために

## 「MRI検査」

MRI(Magnetic Resonance Imaging;磁気共鳴画像)検査は、X線撮影やCT検査のようにX線を使うことなく、その代わり強い磁石と電波を使い体内のあらゆる断面の画像を得ることができる検査で、いわゆる放射線被ばくはありません。撮影の時は、狭いトンネルの中に入って大きな音の中で検査します。しかし、耳栓等を用いて、音を軽減することができるため、ご心配はいりません。検査を受ける時の注意として、強い磁力を検査で使用するため、体内に心臓ペースメーカーを埋め込んでいる方、手術等で金属が体内に入っており、その金属の材質によっては撮影できないこともあります。また、撮影室内では補聴器、装飾品、腕時計、磁気カード、電子機器等は壊れてしまうことがありますので持ち込めません。また、妊娠されている方は、原則は検査できません。また、カラーコンタクトも取り外して頂きます。検査中、狭いトンネルに比較的長い時間入るため、閉所恐怖症の方は、検査できない場合もあります。検査でのご質問については、お気軽に担当医にご相談ください。